

👑 Best Luxury Car

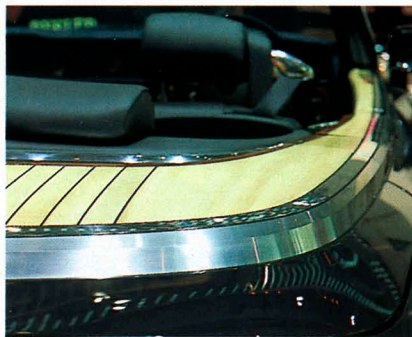


ROLLS-ROYCE 100EX

●ロールス・ロイス100EX／創業100周年記念コンセプトカー。EXはエクスペリメンタルの意。アルミフレームがベースの4座オープン。全長5,569×全幅1,990×全高1,561mmで9.8ℓ V16気筒エンジン搭載の超豪華怪物。

この迫力は誰にも真似できない。
永遠にカッコいいおじいさんだよ。

1930年代のモデルのカタチではなく感覚を狙ったという100EX。「ロールス・ロイスのモノ作りはボディフォルムのデザインも、品質の高さにおいても驚異的に素晴らしいね。エクステリアのデザイナー、メリック・ジョージピッチのセンスには正直言って驚いたよ。昔のモデルがよいものであるほど新モデルを作るのは難しいはずだけど、このコンセプトカーは古臭いどころか新たな価値観を教示している」



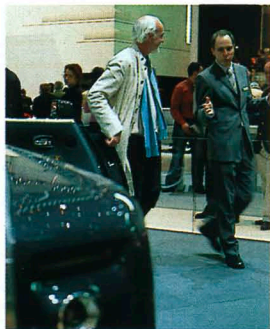
贅を尽くしたインテリア。オープン時はカシミア混紡のソフトトップが収納され、チーク材のトノカバ^{あしの}カバーが姿を露に。



グリルと同様、ロールス・ロイスの伝統を意識しつつ、未来的要素を配し、洗練されたデザインに仕上げたトップライト。



板金ではなく、アルミの塊から削り出したボンネットは内面がなんと格子のデザインに。ロスが興奮状態になった光景。



Marek Djordjevic

Rolls-Royce

●メリック・ジョージピッチ／ロールス・ロイス、エクステリアデザイナー。イアン・キャメロン率いるチームで《100EX》(p.102)のエクステリア担当。

老舗ブランドで偉業を成し遂げたヒーローだ。

ジュネーヴ会場でデザイナーたちの関心が最も集まったコンセプトカー《100EX》。あのルケモンも長時間視察していた。

Q 今回発表した《100EX》のコンセプトについて教えて。

A このクルマには1930年代から続いているロールス・ロイスの冒険のエッセンスが詰まっている。だが、未来にも近い。

Q この大きさに完璧なライン、色、素材。正直驚いたよ。

A 確かにユニークなカラーを使い、ホイールの仕上げも凝っている。でも、一番こだわったのは自然から孤立するのではなく、自然を包み込むようなフォルムにしようとしたことなんだ。